

介護保険事業計画に記載した「取組と目標」等の取組状況及び自己評価結果等（令和5年度分）

市町村名

鏡野町

◎ 岡山県介護保険事業支援計画に記載の「取組と目標」に関する事項

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

(1) 多職種協働による地域ケア個別会議

①定期開催 定例化(月1回以上)	②開催回数 8回	③研修修了者数 2	④自己評価 月1回の開催を予定していたが、目標を達成することができなかった。	⑤課題、今後の方針等 年間スケジュールに基づき、日程調整の上、月1回の定例会議を開催する。 開催頻度→ 定例化→	⑥令和6年度の予定 定例会議を月1回開催する。 月1回 定例化している
---------------------	-------------	--------------	---	---	--

(2) 通いの場（週1回以上、住民運営で体操を行うもの）

①「住民主体で週1回以上」の箇所 50箇所	②左のうち体操を行う箇所数 50箇所	③参加率 10.6%	④自己評価 コロナ感染症の影響もあり、目標の60箇所開催には至っていない。	⑤課題、今後の方針等 通いの場までの交通手段が課題となっている。体操だけでなく、サロンも含め通いの場を広げていく。	⑥令和6年度の予定 55箇所の開催と参加者800人を目標とする。
--------------------------	-----------------------	---------------	--	--	-------------------------------------

(3) 担い手等：リハビリテーション専門職、生活支援コーディネーター及び通所付添サポーター

①支援リハビリテーション専門職 1人	②生活支援コーディネーター人数 2人	③通所付添サポーター人数 0人	④自己評価 日常圏域を2箇所とし、コーディネーターを配置している。通いの場において、リハビリテーション専門職のアドバイスをもらっている。	⑤課題、今後の方針等 十分に(回数・時間)介護予防に関与できるリハビリ専門職の確保が課題となっている。	⑥令和6年度の予定 リハビリテーション専門職の確保に努める。
-----------------------	-----------------------	--------------------	---	--	-----------------------------------

2 介護給付の適正化に関する取組と目標

(1) 適正化主要5事業の実施実績

①要介護認定の適正化 有り	②ケアプラン点検 有り	③住宅改修・福祉用具実態調査 有り	④縦覧点検・医療情報との突合 有り	⑤介護給付費通知 有り	⑧令和6年度の予定 ケアプラン点検、要介護認定の適正化、医療費情報との突合・縦覧点検を重点的に実施する。
------------------	----------------	----------------------	----------------------	----------------	---

(2) ケアプラン点検

①点検実施数	②ケアプランの全数	③アドバイザー派遣受入実績	④アドバイザー派遣の受入が無の場合、実績が無い理由、今後の方針等		
30 件	4,013 件	有り			
実施率（①/②）		⑤目標（数値等）	⑥自己評価	⑦課題、今後の方針等	⑧令和6年度の予定
0.7%		50件	主に実地指導を行った事業所に対し、1ヶ所あたり3件程度点検をした。	ケアプラン点検ソフトを有効活用する。	実地指導の場でケアプラン点検を行う。定期的に点検を行う。

介護保険事業計画に記載した「取組と目標」等の取組状況及び自己評価結果等（令和5年度分）

市町村名

鏡野町

◎ 市町村介護保険事業計画に記載した「取組と目標」に関する評価等

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
介護予防	介護予防普及啓発	フェスティバル開催1回	ボランティア・NPOフェスティバルを開催したほか、普及啓発DVD、社協だより、包括通信等で介護予防普及啓発を図った。	目標通り実施している。	多様な手段により、普及啓発を推進する。
介護予防	介護予防に関するボランティアの育成	介護予防サポーター養成講座の開催3回	開催回数……2回 受講者数……34人 R5年度末時点登録者数…85人	介護予防サポーター85人を確保した。	介護予防サポーター養成講座を実施し、登録者を維持する。
介護予防	通いの場の支援	ハツラツサークル開催箇所60箇所、交流会1回	開催箇所……50箇所 交流会開催…1回	目標の60箇所には及ばなかった。	普及のための効果的なアプローチを検討し、活動している通いの場へは、活動意欲が持続するよう働きかける。
自立支援	生活応援隊	生活応援隊養成講座開催1回 受講者数72人	開催回数…0回 受講者数…0人 登録者数…利用会員7人、協力会員9人	参加者が集まらず、養成講座を開催できなかった。	訪問サービスAとのすみわけを確認したうえで、登録者を確保する。

2 介護給付の適正化に関する取組と目標

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
給付適正化	住宅改修の点検	全件	全件について、申請書の添付書類により点検を行った。	複数の職員で点検し、適切な住宅改修となっている。	住宅改修業者及びケアマネと十分協議したうえで実施する。
給付適正化	縦覧点検	毎月実施	国保連に委託し、請求疑義に対応した。	請求の誤り等の是正を図ることができた。	引続き、国保連に委託して実施する。